

看護部の新体制が スタートしました！

この度、当院看護部の部長および副部長が交代しました。
新体制を担う3人をご紹介します。
みなさん、新しくなった看護部をどうぞよろしくお願いいたします。



看護部長 南城 和子

Q1 | A

当院の看護部理念でもある「一人ひとりの夢を共感と対話の看護で実現します」を実践していきたいと思っています。

看護部 基本方針

1. 夢と誇りを持って自立し協働します(行動)
2. いかなる時も誠実な看護に徹します(信条)
3. 患者の信頼のもと安全な看護を提供します(習慣)
4. 専門性を磨き自らの成長に努めます(成長)

Q2 | A

病院の機能が発揮できる専門性に応じた対応と他スタッフとの連携・協働により、患者さんご家族の方への生活の質の維持・向上につながる、安全で質の高い看護を提供できるよう努力しています。

Q3 | A

全ての医療従事者は、不安や恐怖を抱えながら患者さんの命を守るために頑張っています。しかし、残念ながら不当に風評被害を受ける声も聞かれます。ぜひ、みなさんも正しい理解と適切な予防「3密」を回避し、基本的な行動をお願いします。

Q4 | A

旅行が好きです。少し現場を離れ、いつもと違った景色や美味しいものを食すると、嫌なことや辛いことも忘れ、また頑張ろうと思えます。

質問 項目



Q1 看護師としてのモットー

Q2 どんな看護部にしていきたいか

Q3 コロナ禍での看護の在り方

Q4 ご趣味や気分転換の方法



副部長 毛利 めぐみ

Q1 | A

「思いやりをもって、常に笑顔を忘れない」がモットーです。

Q2 | A

看護師同士が意見を言い合えて、相手を気づかえる風通しのよい看護部にしたいと考えています。

Q3 | A

病棟編制時、コロナ病棟移動を志願してくれたスタッフには本当に感謝しています。少しでも不安が軽減するよう、マニュアルや自己を守る手段を早急に習得して欲しいと願います。

Q4 | A

院長杯のゴルフがきっかけで、ゴルフをするようになりました。今はコースに出られませんが、練習場で思い切りドライバーを振り回して気分転換しています。



副部長 田中 朋子

Q1 | A

自己の看護の内省と自己研鑽を絶やさず、患者さんに満足していただける質の高い看護サービスを実現することです。

Q2 | A

地域施設と医療連携・充実に貢献し、安全管理と質の向上に努め、スタッフとの意見交換や看護サービスマネジメントなども実施しながら、患者さんに選ばれる病院を目指します。

Q3 | A

スタッフへ感染管理の共通認識を持たせ、患者さんに安全安心な看護が提供できるように努め、チーム医療が円滑に連動されるよう関わっていきます。

Q4 | A

映画鑑賞やショッピング、旅行など。また、フラダンスを習っています。今はコロナの影響で外出自粛のため、家でオンラインや動画サービスなどを利用しています。

地域がん診療連携拠点病院 / 地域医療支援病院



友愛記念病院 <http://www.yuai-hosp-jp.org/>

〒306-0232 茨城県古河市東牛谷707 TEL:0280-97-3000(代表) FAX:0280-97-3001

診療の ご案内

当日の受付時間 (タッチパネルの機械)

月～金 / 8:30～16:00 (当日午前分は11:30まで)
土 / 8:30～11:00

当日の受付時間 (予約専用電話 TEL:0280-97-3344)

月～金 / 8:00～15:30 土 / 8:00～10:30